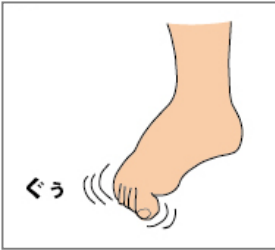


ID		患者氏名	様
----	--	------	---

婦人科・腔式子宮全摘出術を受けられる方へ【患者用クリニカルパス（入院スケジュール）】

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。 ※何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください。

年月日	年 月 日	月 日		月 日 ～ 月 日	月 日	月 日 ～ 月 日
経過	入院（手術前日）	手術当日		手術1～2日後	手術3日後	手術4～6日後
		術前	術後			
達成目標	□術前の処置・必要物品が理解できる □医師の説明が理解できる □手術に対する不安や疑問を言える	□絶飲食指示が守れる □手術に行く前の準備ができる	□術後の安静指示が守れる □痛みを我慢しないで過ごすことができる □性器出血がある場合はナブキンに付着程度である	□発熱がない □痛みを我慢しないで過ごすことができる □性器出血がある場合はナブキンに付着程度である □トイレ歩行ができる	□発熱がない □痛みを我慢しないで過ごすことができる □性器出血がある場合はナブキンに付着程度である	□発熱がない □痛みを我慢しないで過ごすことができる □性器出血がある場合はナブキンに付着程度である □退院後の生活に不安がない
検査 治療 処置	□採血をします □弾性ハイソックスの測定を行います □必要時、除毛を行います	□手術室に行く前に浣腸を行います □術衣に着替え弾性ハイソックスをはきます	□酸素吸入を行います □足にフットポンプを装着します □痛み止めは医師の指示に従って対応します □腔内にガーゼが入っていることがあります	□採血をします □フットポンプをはずします		□診察をして問題なければ退院の許可が出ます
内服薬 注射	□15時頃に下剤を内服します □常用薬があれば薬剤師または看護師にお伝えください	□内服薬は医師の指示に従ってください		□内服薬は医師の指示に従ってください		
活動 安静度	□制限なし	□制限なし	□ベッド上安静 	□ベッドの上半身を徐々に上げて座り、看護師見守りの下自室内のトイレまで歩行します	□制限なし 	
食事	□制限なし	□食べたり飲んだりできません 	□食べられません □飲み物は医師の指示にて始まります	□医師の指示にて食事が始まります	□制限なし 	
清潔	□シャワー浴・洗髪		□歯磨きはベッド上で行います	□体を拭いて着替えをします ＊腔壁形成を受けられた方は、尿管が抜けるまで、看護師が陰部洗浄を行います。	□短時間で無理のないようにシャワー浴を実施してください	□制限なし 
排泄	□制限なし		□手術室より尿管を挿入しています	□医師の指示があるまで尿管を挿入しています □初めてのトイレ歩行時は、看護師が付き添います		□術後排便があればお知らせください 
指導 説明 書類	□医師より病状説明（手術・麻酔・輸血説明・同意書配布） □肺血栓塞栓症予防についての説明・同意書 □入院時オリエンテーション（ネームトバンドの装着） □術前オリエンテーション（必要物品の説明・確認） □爪切り・マニキュア除去確認 □患者用パス・入院診療計画書の説明 □病衣の使用許可	□眼鏡・コンタクト・入れ歯・化粧・アクセサリー等の金属類をはずしてください □化粧はしないでください	□ベッド上安静中も寝返りや下肢の運動を積極的に行ってください □排ガス（おなら）があれば、腸が動いている証拠となりますので、お知らせください 	□歩行できれば弾性ハイソックスを脱いでください □トイレ使用時は、ウォシュレットで陰部を清潔にしてください ＊腔壁形成を受けられた方は、ウォシュレットは使用はしないでください	□下肢の運動を積極的に行ったり、できる限り歩行して血液の流れを良くしましょう □「退院のしおり」を用いて退院指導をします 	【退院基準】 ・発熱がない ・痛みが我慢しないで過ごすことができる ・性器出血がある場合は、ナブキンに付着程度である ・術後、排ガスまたは排便がある 【退院後の治療計画】 ・内服薬がある場合は継続 【退院後の生活について】 ・「退院のしおり」指導のパンフレットを参照してください ・性器出血が急に増えた、発熱、腹痛、吐き気などの症状や、何か特別に心配、困ったことがある場合はご連絡ください
リハビリ ・その他					【連絡先】 徳島大学病院：088-631-3111 代表番号になっていますので、退院後は下記にお知らせください 産科婦人科外来：088-633-7175	【指導】 ・服薬指導